

# 春の火災予防運動



令和5年4月20日（木）から4月30日（日）まで  
札幌市白石消防署

## 屋外での火の取扱いに注意しましょう！

春は空気が乾燥し、風の強い日が多くなるため、小さな火種が枯草等に燃え移り「野火火災」が発生しやすい季節になります。

特に、たき火やバーベキューコンロ、薪ストーブ（付属する煙突も含む）等は火の粉が周囲に飛び火する危険がありますので、火を使用する機器の取り扱いには十分に気を付けましょう。

昨年は白石区でもごみや廃材の焼却から火災が発生しています。以下の点を守り野火火災を防ぎましょう。

### 野火火災予防のポイント

- 外でごみ焼きをしない！
- 喫煙は決められた場所で！
- 吸殻のポイ捨てはしない！
- 子どもに火遊びをさせない！



ごみ焼きから発生した火災



## 自動消火装置の設置助成事業を行っています

対象者：市内在住の65歳以上の高齢者のみで  
構成される世帯

助成額：1台あたり購入・設置に要した費用の  
最大 **28,700円** を助成

インターネット環境のある方

札幌市 自動消火装置 助成

検索



↑二次元コードはこちら

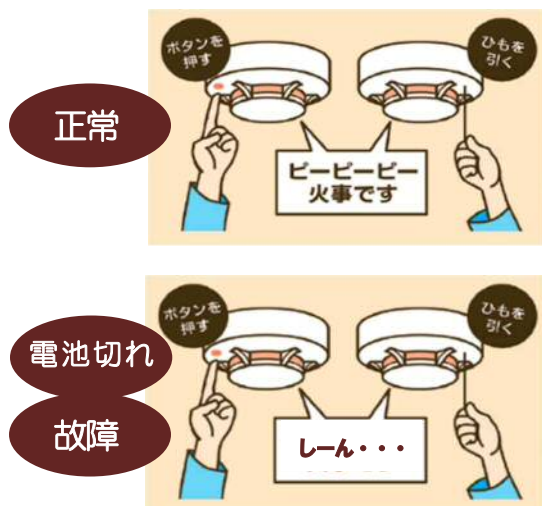
# 住宅用火災警報器の設置と維持をしましょう！

消防法により原則すべての住宅に設置が必要な住宅用火災警報器。火災により発生する煙や熱を感知し、音や音声で警報を発して火災の発生を知らせてくれる機器であり、就寝中や別の部屋で火災が発生した時などに有効です。

住宅用火災警報器は設置されていても電池切れや故障している場合は、火災が起きても警報が鳴りません。定期的に正常に作動するかの点検をしましょう。

また、電池切れだけではなく、内部のセンサー等の劣化により火災を感知しない可能性がありますので、10年を目安に本体の交換をするようお願いします。

交換を検討している場合は「**連動型住宅用火災警報器**」がおすすめです。連動型は、別の部屋で火災を感知した場合でも、家中すべての警報器が鳴るので、家の中にいる全員が同時に火災を知ることができ、早期の避難を開始できます。



連動型住宅用火災警報器の仕組み

## 札幌市民防災センターがリニューアルしました！

今年で開館から20年を迎え、3月20日にリニューアルに伴うプレオープンをした札幌市民防災センターが4月20日の記念式典を機にグランドオープンとなります。

このたびのリニューアルにより、さらに実践的で臨場感あふれる施設へと生まれ変わりましたので、これからも皆様の防火・防災意識の高揚や防災対応力の向上にお役立ていただくようお願いいたします。

### 【リニューアルの概要】

- ・ プロジェクションマッピングを活用した「消火体験」
- ・ 避難行動を振り返ることができる「煙避難体験」
- ・ 様々な災害についての知識を学べる「学習コーナー」

～お知らせ～

2023年4月20日 木曜日  
12時から13時まで (予定)  
白石消防署車庫前にて車両展示等のイベントを行います。